

2020年3月3日

生徒の皆さんへ

東京大学教育学部附属中等教育学校

校長 勝野 正章

既にお知らせしているように、本校は明日3月4日（水）から19日（金）まで臨時休業となります。

「ああ、今日でもう学校は終わりか」というつぶやきが校舎のそこかしこから聞こえてくる気がします。楽しみにしていた行事が中止または延期となり、部活動や生徒会・委員会活動もできなくなって、さぞかしがっかりしていることでしょう。でも、ぜひ気持ちを前向きに切り替えて欲しいのです。

皆さんは突然予定がなくなって、少なくない時間をどう過ごすかを考えなくてはならなくなりました。これはチャンスです。集中的に本を読むとか、音楽や美術の鑑賞・制作に取り組むなどとして興味・関心をどんどん深めてください。場所と方法を工夫すれば、体力・運動能力を維持するだけでなく、向上させることも十分に可能です。学習面でも得意分野をさらに伸ばしたり、苦手分野の補強にじっくり取り組んだりする時間があります。皆さんが賢く時間を使えば、学校が休みになったことで失うものを補って余りあるものを必ず得られます。

学校が休業になって残念な気持ちは、私たち教職員も同じです。しかし、現在の情勢では皆さんの健康と安全を守ることと、予定どおり学年末の教育活動を行うことの両立は困難であると判断し、今回の臨時休業を決定しました。ですから、休業期間中は皆さんに新型コロナウイルス感染の危険から身を守ってもらうことが最優先です。そのために、生活の仕方について先生が話すことやプリントに書いてある注意事項を必ず守ってください。

何か困ったこと、相談したいことがあったら躊躇せず学校に連絡してください。休業期間中も教職員はいつも皆さんのことを気にかけていることを忘れないでください。授業や部活動はありませんが、学校に絶対来てはいけないというわけではありません。必要があれば、個別に学校に来ることはできます。

4月には一人残らず元気に、この学び舎に戻ってきてください。東大附属にまた皆さんの明るい声が響き渡ることを楽しみにしています。